

資料1 日本、福岡県における男女共同参画の状況について

1 「ジェンダー・ギャップ指数 (GGI)」について

ジェンダー・ギャップ指数の概要

- ・ 世界経済フォーラム (注) が、各国における男女格差を測る指標として毎年作成
- ・ 「経済」、「教育」、「保健」、「政治」の分野毎に数値化したデータを平均化して算出
- ・ 「0」が完全不平等、「1」が完全平等を意味する。
 (「1」に近いほど男女格差が小さいことを示す。)
- ・ 2016年の日本の順位は、144か国中111位 (2015年は145か国中101位)

注 [世界経済フォーラム (World Economic Forum)]

- ・ 1971年に設立された、世界の1,200以上の企業や団体に構成する非営利財団 (本部：スイス)
- ・ 毎年各国首脳等が招かれ世界が直面する課題について議論する通称「ダボス会議」を主催

○ 日本及び各国の状況 (全144か国)

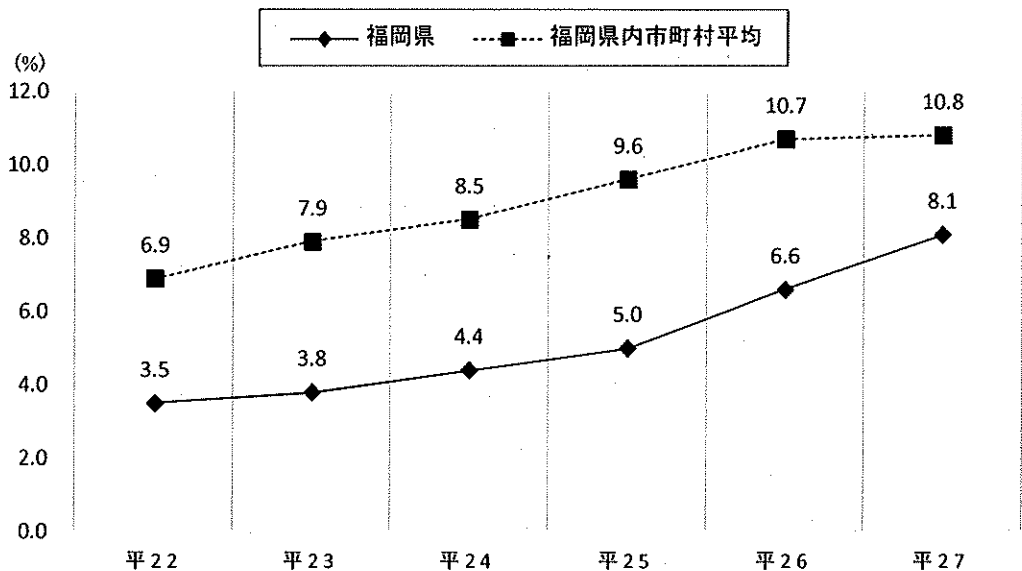
順位	国名	数値 (2016)	前回順位 (2015)
1	アイスランド	0.874	1
2	フィンランド	0.845	3
3	ノルウェー	0.842	2
4	スウェーデン	0.815	4
5	ルワンダ	0.800	6
6	アイルランド	0.797	5
7	フィリピン	0.786	7
8	スロベニア	0.786	9
9	ニュージーランド	0.781	10
10	ニカラグア	0.780	12
13	ドイツ	0.766	11
17	フランス	0.755	15
20	イギリス	0.752	18
45	アメリカ	0.722	28
99	中国	0.676	91
111	日本	0.660	101
116	韓国	0.649	115

日本の各分野の状況

分野	順位	数値	主な項目
経済	118	0.611	同じ仕事の賃金の同等性、管理職比率
教育	76	0.988	識字率、初等・中等・高等教育の在学率
保健	40	0.979	男女の出生比率、健康寿命
政治	103	0.103	国会議員比率、閣僚比率

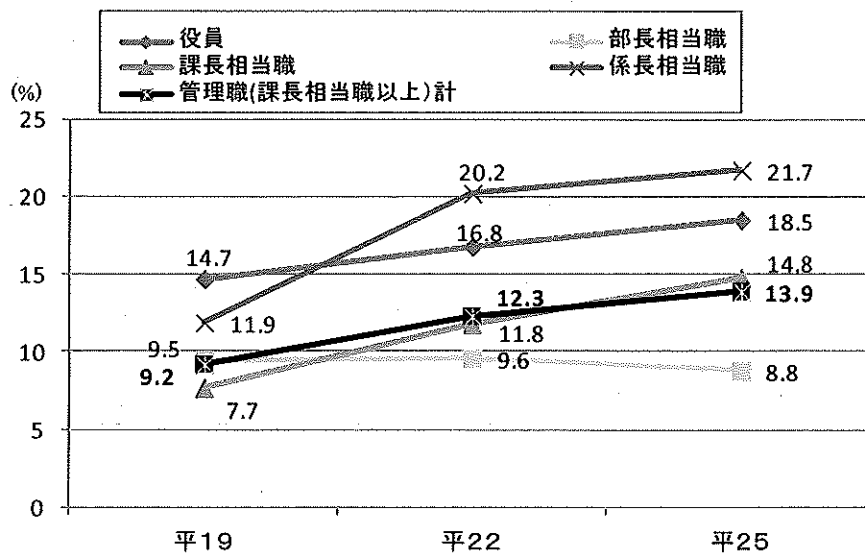
2 福岡県における女性管理職の割合（地方自治体、事業所）

○ 女性公務員の管理職登用の状況



福岡県男女共同参画推進課調べ

○ 事業所における管理職（課長相当職以上）等に占める女性の割合



福岡県「雇用均等・仕事と家庭の両立実態調査」

資料2 福岡県女性海外研修事業「女性研修の翼」について

〔事業目的〕

地域や企業等で積極的な活動を行っている女性を海外に派遣し、外国の各種制度・施設の視察・調査や、人との交流等を通して、国際的視野を持って男女共同参画社会の実現に向けた活動のリーダーとなる人材を育成し、本県の男女共同参画推進に資する。

- 昭和58年度の事業開始から平成28年度までに33回実施し、689人の団員を派遣
- 派遣国は、「福岡県女性研修の翼実行委員会」において、男女格差の状況を示す「ジェンダー・ギャップ指数」のランクが上位の国などの男女共同参画について先進的な国を選定
- 派遣後、団員は、県・市町村審議会委員や市町村議会議員、企業の役員等に就き、様々な分野で活躍
- 団員OGが任意団体『ふくおか県「翼の会」』を昭和63年に結成し、相互交流や市町村長との意見交換等を行い、地域での男女共同参画推進活動を実施（市町村の計画や条例づくり等で地域に寄与）

〔平成28年度実施状況〕

- ア 研修国 ノルウェー
- イ 研修時期 平成28年11月6日（日）～11月12日（土）【7日間】
- ウ 研修参加人員 団長1名、団員20名
- エ 団員負担金 30万円
- オ 団員1人当たりの補助額 5万5千円

○ 団員の研修後の活動状況

研修参加後、新たに就いた役職（指導的地位） ※複数回答	回答数
NPO等の役員	109人
市町村の審議会委員	108人
自治会、PTA等地域団体の役員	75人
行政委員会等委員（教育委員等）	35人
県の審議会委員	24人
市町村議会議員	23人
農協や漁業団体等の委員	16人
企業の役員	18人
企業の管理職	9人
合 計	417人

※ 男女共同参画推進課調べ（H25、H28） 回答数：第1回～第32回団員 669人中211人